

Mahara利用ガイド

法政大学 情報メディア教育研究センター

宮崎 誠

Mahara 概要

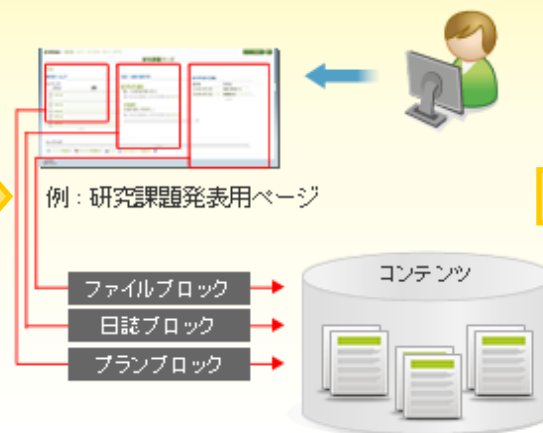
1 貯める

学生は用途に応じて、活動履歴(アーティファクト)を作成します。



2 見せる

作成した活動履歴(アーティファクト)を目的に応じて組み合わせ、ページを作成します。

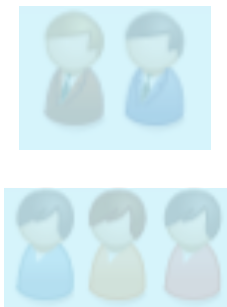


3 共有する

作成したページは、共有するグループや利用者を設定できます。



グループ



友達



フォーラムの投稿

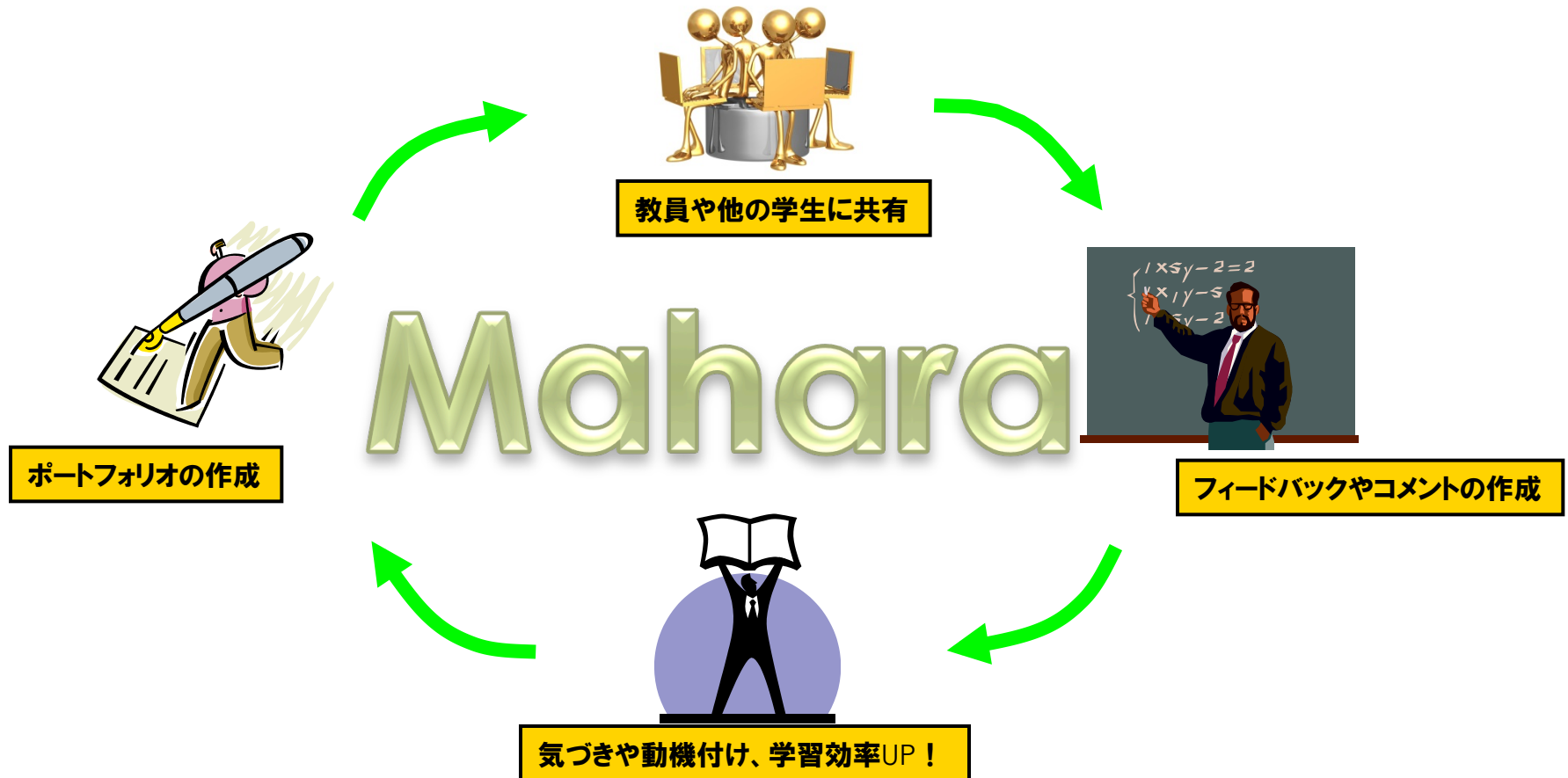
ウォールの投稿

ページの共有

メッセージの送信

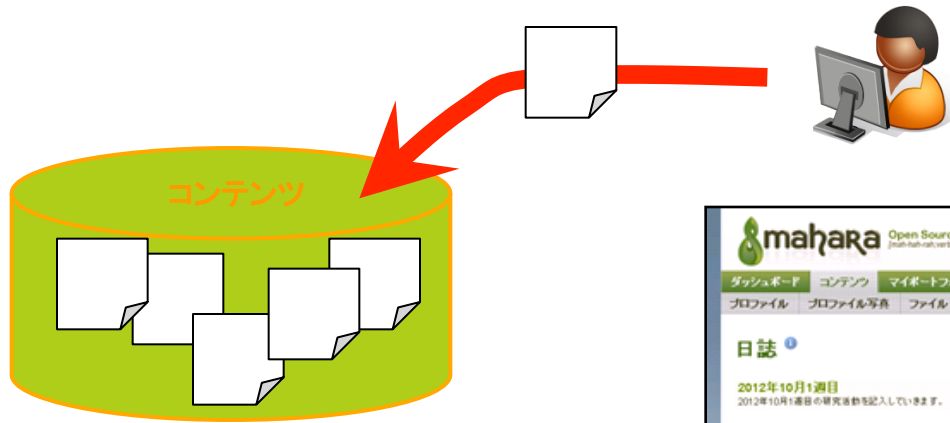
Mahara 概要

Mahara は、活動履歴を蓄積したポートフォリオを、教員や他の学生と共有することができる、eポートフォリオシステムです。



システムの利用イメージ(「貯める」と「見せる」)

用途に応じて、活動履歴(コンテンツ)を作成します。**貯める!**



日誌の作成

日誌

2012年10月1週目
2012年10月1日の研究活動が記入しています。

日誌を追加する

馬原 太郎

オンラインユーザー (直近の10分間)

タグ

ファイルのアップロード

ファイル

ファイルをアップロードする

| 名称 | 説明 | サイズ | 登録日 |
|---------------------|------|-------|------------|
| 2012年10月1週目研究結果.doc | 報告資料 | 23.9K | 2012/10/05 |
| 2012年10月10日発表資料.ppt | | 9K | 2012/10/05 |
| 2012年10月履修計画.xls | | 13.9K | 2012/10/05 |

計画の策定

レジュメ

マイゴール

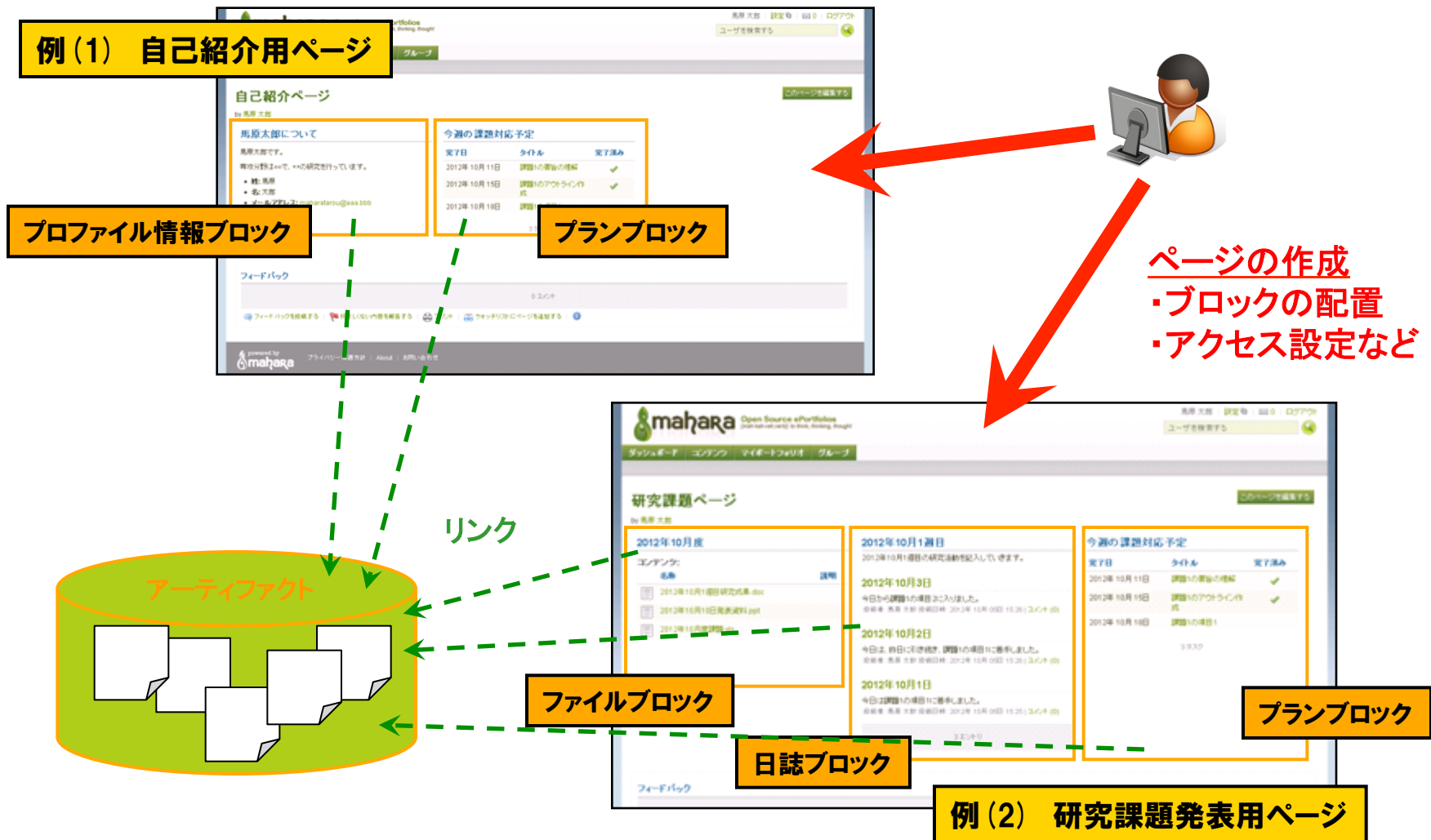
パーソナルゴール

アカデミックゴール

キャリアゴール

システムの利用イメージ(「貯める」と「見せる」)

作成した活動履歴(コンテンツ)を目的に応じて組み合わせ、ページを作成します。 **見せる!**



ページのイメージ(ブロックとは?)

作成したポートフォリオのイメージは以下のようになりますが、これらはブロックで構成されます。

例:とあるページ

The screenshot shows a Mahara portfolio page for a user named 馬原 太郎. The page is titled "研究課題1" and contains several content blocks:

- 2012年10月度**: A list of documents including "2012年10月1項目研究成果.doc", "2012年10月10日発表資料.ppt", and "2012年10月度課題.xls".
- ToDo**: A list of tasks such as "4月の研修について理解する" and "9月度の研究成果のまとめ".
- 2012年10月1週目**: A list of activities for the first week of October, including "2012年10月1日" (research start), "2012年10月3日" (project entry), "2012年10月2日" (project completion), and "2012年10月1日" (project completion).
- 馬原太郎について**: A profile section with contact information and a "今週の課題対応予定" (weekly task schedule) table.

プロフィール情報
ブロック

...ブロック

ToDoブロック

...ブロック



ブロックは編集時にドラッグ&ドロップで画面上に配置していきます。

ブロックはシステムであらかじめ設定されているものがありますが、それ以外に、サードパーティのものや自作開発したものをアドオンすることも可能です。

The screenshot shows the Mahara page editor interface. At the top, there are navigation tabs: "ダッシュボード", "コンテンツ", "マイポートフォリオ", "グループ", and "サイト情報". Below these are "ページ", "コレクション", "共有", and "エクスポート". The main area is titled "タイトルなし" and contains a toolbar with icons for "ファイル", "イメージ", "テキスト", "HTML", "リンク", "リスト", "テーブル", "フォーム", "ビデオ", "オーディオ", "スライドショー", "外部コンテンツ". A red dashed box highlights the block palette. Below the palette is a workspace with a "完了" button. A yellow callout box points to the workspace with the text: "あらかじめ登録されているものに加えて追加も可能".

ページのアクセス設定

作成したページには共有するグループや利用者を設定できます。

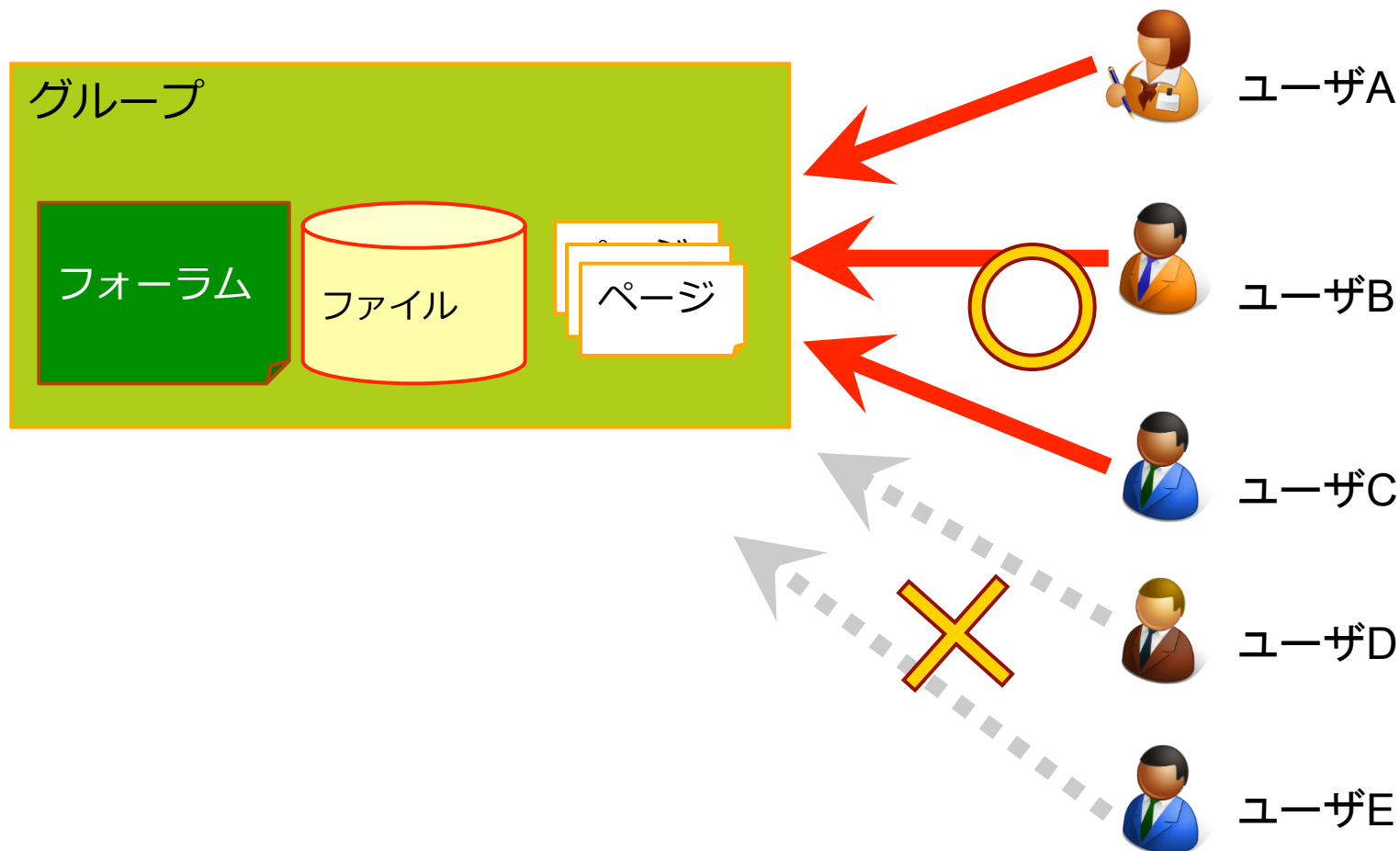
例：自身が所属する研究室のグループを共有設定に追加

例：友人学生の利用者を共有設定に追加

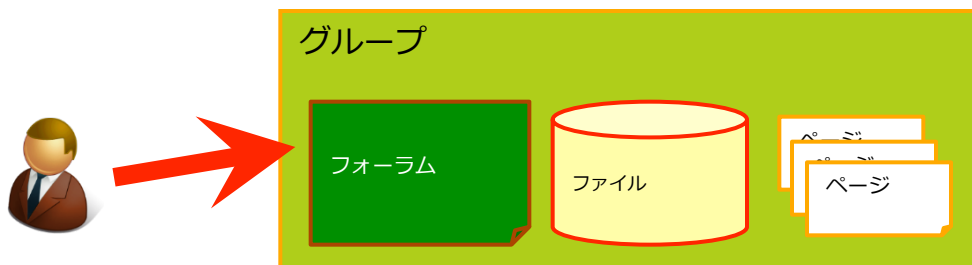
6種類のタイプに対してアクセス権を設定できます。

グループについて

グループはメンバー限定の領域で、メンバーはグループのエリア内にページを作成したり、フォーラム(掲示板のようなもの)に投稿したりすることで、限られたメンバー間でコミュニケーションや情報共有を行う事ができます。

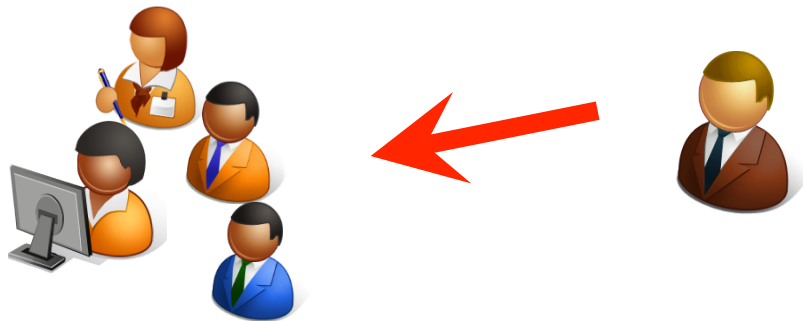


利用イメージ



グループの管理者は教員です。
ゼミや授業の指導を行います。

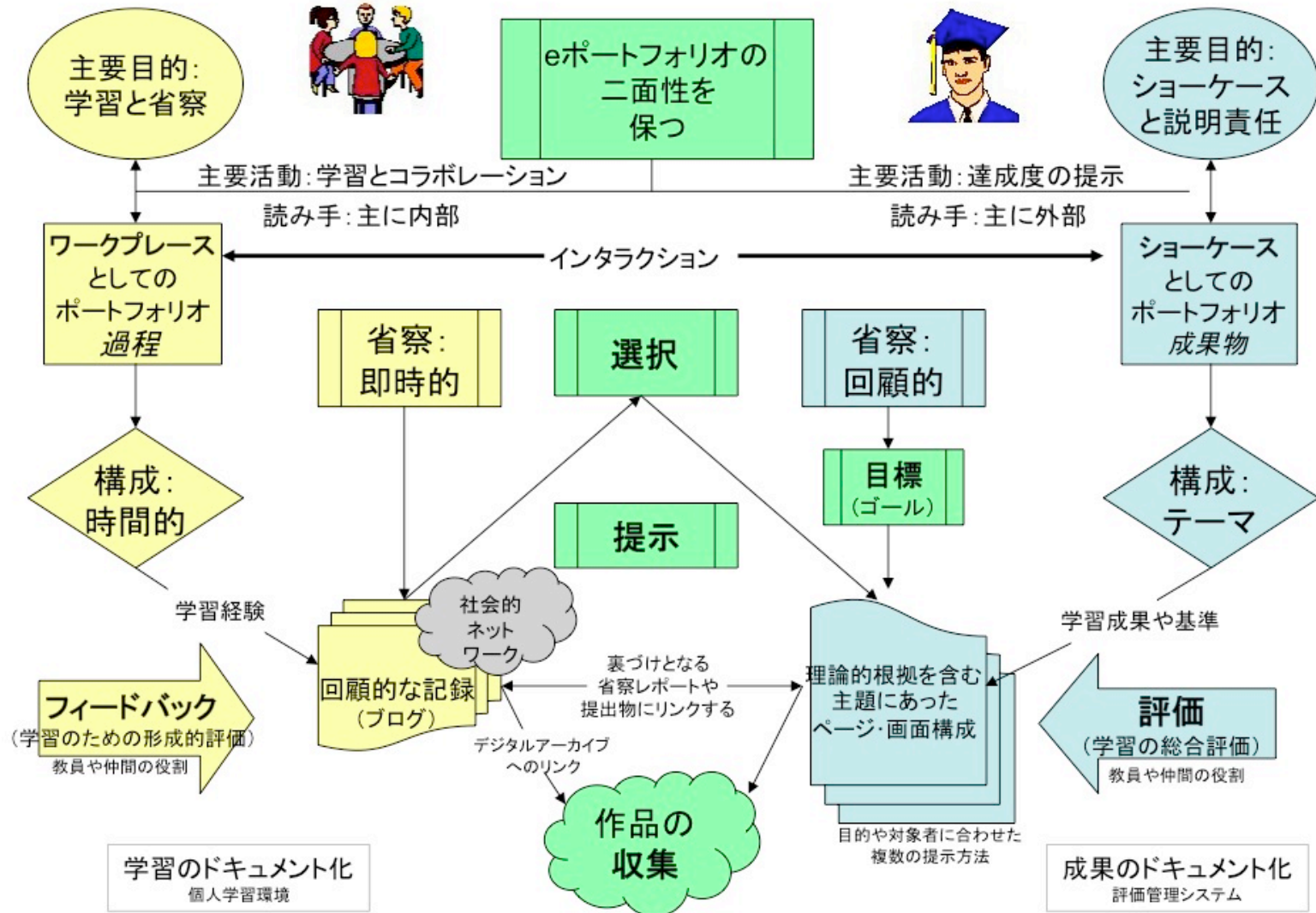
所定のページの共有設定を行い、
留学支援や就職指導を行います。



テンプレート配布機能を利用して
課題やレポートを提示します。



Balancing the Two Faces of E-Portfolios



ワークスペースとショーケース

eポートフォリオの二面性

利用する目的

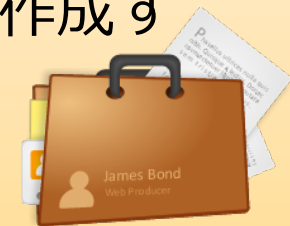
ワークスペース

学習成果物を蓄積し、それを活用した学びの振り返りを行う。インストラクターや他の学生からのフィードバックによる学習の深化等に利用



ショーケース

学生が学習の成果を自己アピールするための作品として、誰かに見せること（公開すること）を前提に作成する



eポートフォリオ開発プロセスの3段階 (H. Barrett)

Level 1

- 学習の成果物としてデジタルデータをシステム上に集めて、保存する。

Level 2

- ブログなどを活用し、データと一緒に省察やフィードバックのコメントなどを記録する。

Level 3

- 公開することを前提に掲載するデータの選択を行い、テーマ性のある作品としてeポートフォリオを作成する。

ワークスペース

ショーケース

(参考) eポートフォリオによる 学習活動とツールおよび機能の比較

| 活動 | | ツール／機能 | |
|----------------|------------------------------|---------------------------|--|
| 学生 | 教員／学生 | Sakai OSP | Mahara |
| 提示 | 評価 (学習の総合評価) | ポートフォリオ, ポートフォリオテンプレート | ページ |
| 目標 (ゴール) | | フォーム, マトリックス, ウィザード | レジюме, プラン |
| 選択／省察 (回顧的) | | フォーム, マトリックス, ウィザード | ページ, テキストボックス |
| 省察 (即時的) | フィードバック (学習のための 形成的評価) | フォーム, マトリックス, ウィザード | 日誌, ページ |
| 収集 | | リソース, フォーム | ファイル, 外部フィード, 外部ビデオ, Google Apps |
| 収集 | | リソース, フォーム | 外部ビデオ, Google Apps |

(参考) ポートフォリオ 作成過程における活動の評価のまとめ

- Sakai OSP, Maharaともにすべての活動を実現できる
- Sakai OSPは, Level 1からLevel 3の活動をフォームとマトリックス (ウィザード) だけで実装できる
 - 教育工学の知見により設計されている
 - そのためマトリックスを使った学習活動そのものがeポートフォリオ作成の過程に合致している
- Maharaは, eポートフォリオとして扱えるコンテンツの種類が豊富である
- 日常的に活動を記録し, 共有する際には, Maharaの日誌 (ブログ) が便利である

(参考) まとめ

- Maharaは、収集したコンテンツを公開するショーケース機能が有用である
 - 学生は、集めたコンテンツの中から選択して自由に、そして比較的容易にページを作成することができる
 - 作成したページは、グループで共有する、外部に公開するといった活動が比較的容易にできる
- ユーザフレンドリーな操作性や、システム管理者負担の少なさにより、システムを導入する敷居は低い

活用事例：海外留学



海外留学 SA(Study Abroad)プログラム

- 一定期間、学部生が海外協定校に留学
- 2000年に国際文化学部で開始され、現在全10学部で導入
- 国際文化学部ではSAが必修化
- 目的
 - 現地での授業による知識の獲得
 - 現地の人々や日本以外からの留学生との交流により生きた外国語による語学力向上
 - 異文化理解を深める
 - 国際的な視野を持つ

ワークスペースとしての eポートフォリオ活用

海外留学へのさまざまな不安

- 自分の語学力でコミュニケーションできるだろうか
- 友人はすぐにできるだろうか
- 授業には最後までついていけるだろうか
- 期末試験に合格できなかったらどうしよう
- 生活費はどれくらいかかるのだろうか

eポートフォリオの導入

不安の解消と学習への活用

- 学生同士のピアサポート・コミュニケーションによる不安の解消（学習コミュニティ - グループ）
- SAでの経験や学習成果を記録し、振り返りに活用（学習経験の記録 - 日記・ファイル）
- eラーニング教材への入り口（ポータル機能）

SA中国

あなたはこのグループのメンバーです。

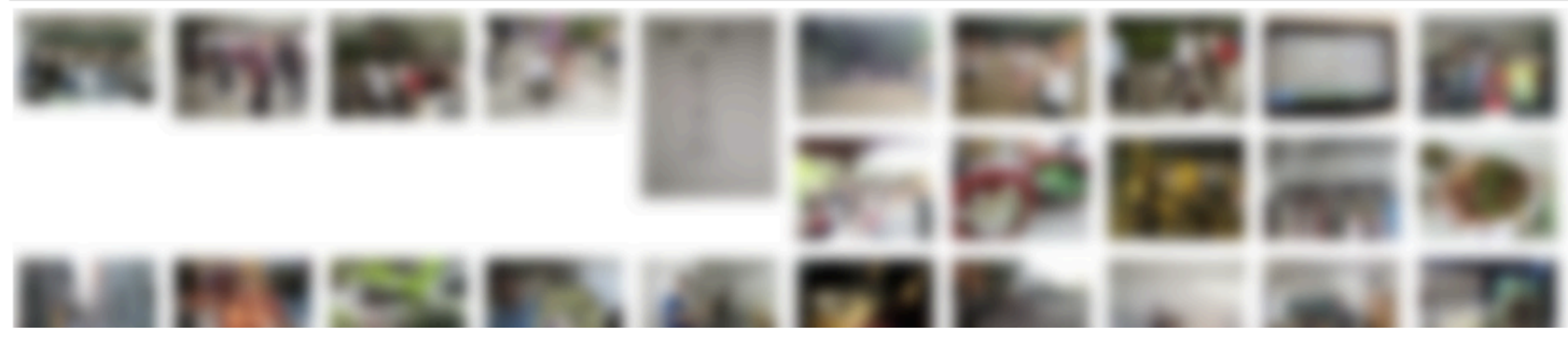
[このグループから離れる](#)

中国語・中国文化関連科目一覧

| | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 4年生 | |
|------|----------------------|---------------------|--------------------|-----|------------|-----|------------|-----|
| | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 | 春学期 | 秋学期 |
| 基礎科目 | 中国語1 ポイント学習 鈴木 | 中国語3 你好！北京 鈴木 | 中国語7 爱汉语播客 曾 | | | | | |
| | 中国語2 | 中国語4 | 中国語8 | | | | | |
| | 中国語5 ポイント学習 鈴木 | 中国語6 你好！北京 鈴木 | | | | | | |
| | | 伝統芸能 鈴木 (隔年) | | | 伝統芸能 鈴木 | | 伝統芸能 鈴木 | |

授業用ページへ

2012年度SA中国アルバム





担当教員 鈴木 靖、蔣 或婷
曜日時限 月曜2時限、火曜2時限、金曜3時限
到達目標 SA中国1年生のための中国語科目です。春学期の到達目標は、新HSK1級合格です。

陪我看日出



授業計画 (2013年度春学期)

| 回 | 予定日 | 内容 | 各回のポイント・到達目標・チェック項目 | |
|---|-------------|------|---------------------|-------------------|
| 1 | 4月8日 (月) | はじめに | ポイント | 世界の中の中国と中国語、中国語とは |

デジタル教科書



デジタル版ポイント学習中国語初級

| | | | | |
|----|--------------|-------|----------------------|--|
| 22 | 5月31日 (金) | 復習 | 補助教材 | 你好！北京上集39 |
| 23 | 6月3日 (月) | 第十七課 | ポイント 到達目標 チェック | 動詞述語文(六) 名量詞と動量詞、「もう...だけ~する」、動詞の重ね型 もう一度何かをするよう頼むことができる もう一度読んでください |
| 24 | 6月4日 (火) | 第十八課 | ポイント 到達目標 チェック | 連動文、乗り物のいろいろ 連動文を使ってたずねたり、説明したりすることができる 何をしに中国へ行くのですか？ |
| 25 | 6月7日 (金) | 復習 | 補助教材 | 你好！北京上集39 |
| 26 | 6月10日 | 第十九課 | ポイント | 完了態、「すでに~した」「まだ~していない」 「していない」を使ってたずねたり、説明したりすることができる たか？ |
| 27 | 6月14日 | 第二十課 | ポイント | 変化態「もう...が...」 |
| 28 | 6月17日 | 第二十一課 | ポイント | 「...か？」 |
| 29 | 6月20日 | 第二十二課 | ポイント | 「...か？」 |
| 30 | 6月24日 (月) | 第二十三課 | ポイント 到達目標 チェック | 「有点儿~」と「太~」、程度副詞のいろいろ 程度副詞を使って程度を説明することができる 餃子はちょっと油っこすぎます。 |
| 31 | 6月25日 | 第二十四課 | ポイント | 比較表現①~③ |

eラーニング教材へ

前頁へ 第18課 去中国干什么? 次頁へ

第十八課
Dì-shíbā kè

去中国干什么?
Qù Zhōngguó gàn shénme?

渡边：我暑假去中国。

参考資料

1. 中国漢字の発音と筆順
2. NAVER中国語辞典 (中日・日中辞典)
3. 漢典 (中中辞典)

授業資料

座席表 (春学期) .pdf
 SA中国座席表 (2013年度春学期)
 209.4KB || 詳細

フォーラムへの書き込み

- 実際に現地で生活をしている先輩方の話は本当に聞いてて楽しいです。
勉強への意欲も増大します。
- はやくSAに行きたいと思いました。そして、もっと頑張って勉強したいと思いました。
- ☆SAに行く前にどんなことを勉強しておいたら良いですか？（特に中国語）
- おすすめの中国語勉強法などありましたら教えてください★
- 今の積み重ねが大事なんですよ、SAに行くまでになるべく中国語に触れる時間を多く確保できるように、日々の生活を見直したいと思います。
- やっぱり教科書は大切なんですね！Eランもしっかりやりたいと思います！あとはよく聞いて発声すること、心がけたいと思います！聞き取ることはiPODに入れて本文ランダム再生とかでやってみようかと ^^ ♪

かつくと思います！！！！←

頑張ります！！

- ネットワーク基礎は、そんなありがたい授業なんですね ^^！！インターネット接続などに関する知識がほんとにないので、先輩のお話を聞いて、ぜひ取ってみたいなと思いました*

学習へのモチベーション向上にも寄与しているのが伺える

フォーラムへの書き込み

- (日本の) アニメの文化はやはり海外でも浸透しています。あとは和服などの伝統品に興味を持ってきている人もいます。日本食は海外でもウケがいいみたいですね。
正直自分が日本のことを知らな過ぎて恥ずかしい思いを何度もしているので、今少しずつ日本のことを調べているところです。
- SA中国だからといって中国の文化だけに固執する必要はないんですよね～(^^)
- そうですよ！私はインドネシアの友達が増えましたが、彼らの文化もなかなか面白いです。クラスにはウクライナやウズベキスタンの人などもいて彼らの文化もなかなか興味深いです。
- クラスの雰囲気は、みんなまじめで、欧米の人は授業中よく発言します。
アジア系は指されたら答える感じですね（笑）
会話の授業では、グループになって自分たちの国について話したり

文化的自己理解・異文化理解についての気付きにも寄与しているのが伺える

SA中国での検証まとめ

eポートフォリオによる学習コミュニティを構築

学生同士のピアサポートの場を実現

- 海外留学前に上級生に不安に思っていることを質問
- 上級生からどのような準備をしてSAに臨めば良いか助言してもらえる
- 上級生は良い意味で先輩風を吹かせて助言している

SAを控えた学生の学習意欲の向上に寄与していることを確認

帰国後に作成する SA帰国レポートをグループ内で共有する

帰国レポートをグループで共有するのは問題？

Q. グループで共有された他の学生の帰国レポートを丸写しすることはないのか？

A. 丸写しすれば他の学生を含め、みんなに分かるのでカンニングのような行為はない。

- むしろ、学生同士に公開されるので、いい加減なものを出せない→**課題の質の向上が期待**
- 他人に公開され、評価されるという**良い意味での緊張感**
- 一部の科目では、課題ツールで提出の優秀な課題レポートを学習者に公開→**リフレクションの材料**

Facebookでよいのでは？

Q. Facebookでも同じような活動ができるので、Facebookでよいのではなのか？

A. 公開範囲，公開期間を柔軟に設定したり，すでにある学習成果物を再利用して，Webページを作成することができない！

- 確かにグループ活動であれば，facebookでも可能.
- 日誌のようなブログであればWordpressでも可能.
- LMS等でもファイルをアップして配布することが可能.

しかし

- 公開範囲や期間を柔軟に設定できず効果的なショーケースポートフォリオ（学習成果をまとめたり，自己アピールなど）への活用できない！

TMXプロジェクト Mahara

<http://tmx.media.hosei.ac.jp/mahara/>